

□建物名称

ヒューリック大阪ビル

[旧大阪富士ビル]



□建物概要

竣工：1960（昭和35）年10月24日
工期：1959年2月～1960年10月
構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
規模：地上9階 地下3階 塔屋3階
延床面積：30,353.34㎡
用途：オフィスビル
設計：松田平田設計事務所
施工：株式会社 竹中工務店

□特徴

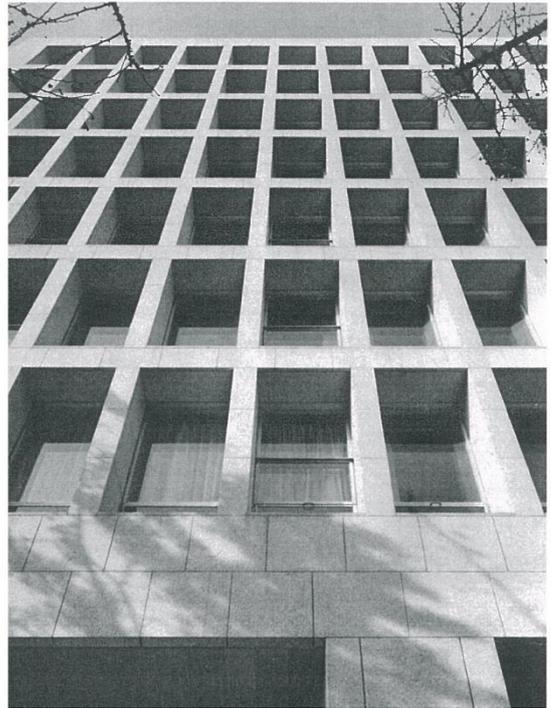
- ・みずほ銀行の前身である富士銀行の大阪支店として建設されたビルである。

現在はみずほフィナンシャルグループの関西拠点となっている。



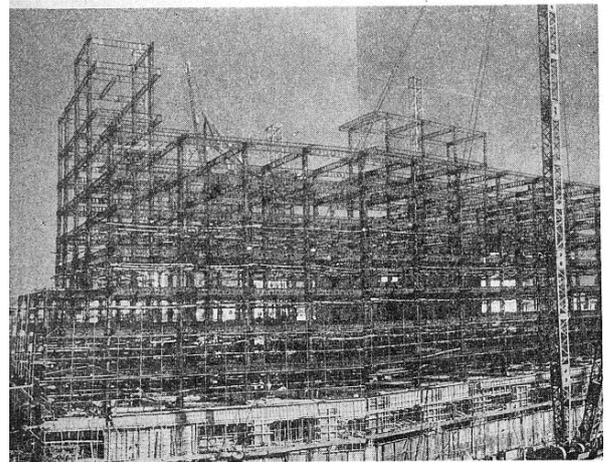
□竣工当時の記事

- ・『建築と社会』1961(昭和36)年1月号に竣工当初の写真と記事が掲載されている。
- ・設計者の言葉に「この建物は、銀行の準本店店舗として、また高能率の事務所建築として計画され、とくに法規上許される最大限の面積と、考えられる最高の建築機能、今後の形態に必ず完全な諸設備が要望されました。」とある。限られた空間に、数多くの諸設備を、いかに無駄なくおさめるか等、苦心のあとが見て取れる。



竣工時の外観

- ・設計者は、親しみやすい意匠を意図し、アーケードや開放的な銀行正面を採用したと語っている。確かに1960年以前の銀行店舗の外観は、重厚でどっしりしたデザインで信頼感を表現するとされたものである。この建物は、稲田石の外装により、堅牢でしっかりとしたイメージを持たせながらも、開放感のあるエントランスなどで新しい時代を先取りしたデザインとなっている。
- ・構造も摩擦ボルト接合の鉄骨による鉄骨鉄筋コンクリート造を採用するなど時代を先取りしている。(このビルの2年前の1958年に竣工した東京タワーはリベット接合である)



工事中写真